

# ティーチング・ポートフォリオ

家政学部 家政学科 服飾文化専攻

講師 水谷 浩

## 1.教育の責任

家政学部 家政学科において、経営学・情報学領域の教養科目や服飾文化専攻の専門科目を通じて、日本衣料管理協会主催『衣料管理士（TA）』の取得に必要な協会認定登録科目、高等学校教諭一種免許状家庭・中学校教諭一種免許状家庭の必須科目をはじめ、日本消費者協会主催『消費者力検定』や色彩検定協会主催『色彩検定 UC 級』、そして日本ニュース時事能力検定協会主催『ニュース時事能力検定』の受験対策講座などを担当している。

なお、担当科目は、以下のとおり。

| 科目名            | 形態 | 単位 | 対象  | 必・選 | 免許・資格 |
|----------------|----|----|-----|-----|-------|
| キャリア開発Ⅰ        | 講義 | 1  | 服 1 | 選   |       |
| キャリア開発Ⅱ        | 講義 | 1  | 服 2 | 選   |       |
| キャリア開発Ⅳ        | 講義 | 1  | 服 3 | 選   |       |
| 消費生活論          | 講義 | 2  | 服 2 | 必   | TA    |
| マーケティング論       | 講義 | 2  | 服 2 | 必   | TA    |
| 店舗運営論          | 講義 | 2  | 服 4 | 選   |       |
| 情報処理Ⅰ          | 演習 | 2  | 服 2 | 必   | 教職必   |
| 情報処理Ⅱ          | 演習 | 2  | 服 3 | 選   |       |
| ファッションビジネス実務実習 | 演習 | 1  | 服 1 | 選   |       |
| 服飾ビジネス特別演習     | 演習 | 2  | 服 3 | 選   |       |
| 専門研究Ⅰ          | 演習 | 3  | 服 3 | 必   |       |
| 専門研究Ⅱ          | 演習 | 4  | 服 4 | 選   |       |

## 2.教育の理念

学生たちに伝えたいことは、消費生活を通じて、学ぶことの大切さを理解し、一生涯にわたって、実践できるようになることを目標にしている。とりわけ、学生自身も消費者、また社会人としての役割を担い、日常の活動を通して自分自身も社会の一員という自覚を持ち、社会に貢献できるようになることを目標としている。そのため、消費者商品学を学問的側面からだけとらえるのではなく、事例研究を通じて、過去からの成り立ちを踏まえたうえで、今があることを理解できるように学んでほしいと考えている。そういった視野を広げるため、日々努力をすることが人間的な成長につながることを願っている。

## 3.教育の方法

授業では、様々な事例を踏まえて説明するなど、わかりやすい授業の進行を心がけている。また、知識の習得とグループ学習により、行動の成長も促すよう努めている。また、各グループの良い点、課題などを共有し、学生が積極的に授業に参加できるよう努めている。

なお、市販の教科書を用いる場合は、別途、動画の映像をはじめ、各種情報コンテンツを取り入れるなど工夫をし、より知識の幅が広がるように、授業を進めている。

## 4.教育の成果

消費者調査法の授業では、自分たちがマーケティング活動を担っていることを実感できるようになったとコメントがあった。なかでも「Z世代の消費性向」を課題にしたところ、調査結果から共感的価値を知るだけでなく、学ぶことの楽しさや大切さを理解してもらうことができた。

## 5.改善への努力と今後の目標

今後の課題は、Google Workspace を活用し、学生が主体となり、自ら調べ、まとめ、体系的に学んでいくための仕組みづくりを通じて、社会的課題の発見から学びと経験を深められる 授業をめざしたいと考えている。